

「優性遺伝」は「顕性遺伝」に

「劣性」は「潜性」 偏見対策学会が変更

日本遺伝学会は、遺伝子の特徴の表れやすさを示す

「優性」「劣性」を、それ

ぞれ「顕性」「潜性」に改

めると決めた。遺伝子に優

劣があるという誤解や偏見

を生む恐れがあるため、

同学会は関連学会と協議し

てこれらを含む約100語

を改訂し、一般向け用語集

を出版する。文部科学省に

も教科書検定での用語見直

しを要請する方針だ。

同学会によると、「優性」

「劣性」は、「メンデルの

法則」が明治時代に国内へ

伝来して以降、1世紀以上

にわたり使われてきた。し

かし、遺伝子に優劣がある

と誤解している人も少なく

ないため、改訂を決めた。

このほか、「突然変異」

は、元の用語「ミューテー

ション」に「突然」という

意味が含まれないことか

ら、「変異」とする。「色

覚異常」は、「異常」に違

和感を持つ人もいるため、

「色覚多様性」という用語

を新たに追加する。

同学会会長の小林武彦

・東京大教授は「ゲノム

(遺伝情報)が身近にな

り、ゲノムの多様性を優劣

で表現するのは、差別と取

られかねない。改訂した用
語を定着させたい」として
いる。